

# えんがわ

第62号

2012年5月発行

発行元 衣笠病院グループ  
衣笠病院内 横須賀市小矢部  
2-23-1  
Tel 046-852-1182

## 珍婚生活

私事ですが、昨年(2011年)の十月に結婚しました。二十五年間、実家暮らしをしてきた私にとって、親元を離れて暮らすというのは未知の世界でした。洗濯、掃除などは今まで実家でもしていましたが、料理はまったく作ることがなく、毎日手探りでしています。最初の頃はどれぐらいの量を作ったら良いかわからず、三日間カレーを食べ続けたこと

もありました。仕事の帰りに実家に寄り、おかずをもらって帰る時もありました。



そう思うと、  
今まで仕事と家庭の両立をして

きた母はすごいなあとしみじみ思います。親元を離れて暮らして思ったことは、親のありがたみです。今まで、私達の為に家事をしてきてくれた母の存在は大きく、今では母の大変さが身にしみてわかるようになりました。

私の旦那は家事に積極的に掃除、洗濯など進んでやってくれます。私が仕事の帰りが遅い時には料理を作ってくれていてくれたこともあります。

お互い親元を離れて暮らすのは初めてなので、協力し合っただけでいきました。と思う今日この頃です。  
衣笠病院ケアセンター  
事務 岩崎まりえ

## えんがわ在宅 ひとくちメモ

### ショートステイ

介護保険制度の在宅サービスに、ショートステイ(短期入所)サービスがあります。

在宅で要介護状態・要支援状態の方が、介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)等に短期間滞在し、食事・入浴・排泄・着替え・レクリエーションなどの日常生活の介護を受けるサービスです。一人暮らしの方の自立支援と、家族の介護の役割が軽減されたときのレスパイトケアとしての役割があります。

サービスには、介護者のための休養の目的もあります。



ご利用者にとっては他の方々と交流ができることや、施設で行う行事への参加なども体験できます。日常生活と違った時間を過ごすことができることも、魅力でしょう。デイサービスのお仲間と一緒に利用される方もおられます。老人会の旅行を思い出された方もありませんね。衣笠ホームのショートステイでは、毎週回楽しみに利用して下さる方が多くおられ感謝です。  
トステイ!!!  
衣笠ホーム  
ホーム長 齊藤 学

四月に札幌に行く  
と吹雪になっていて  
ビックリしました  
が、横須賀に帰って  
来るとポカポカ陽気  
でした。



これから花がたくさん咲く季節です。